

8月16日(日)、第24回宮日旗・NHK杯宮崎県サッカー選手権大会の決勝が行われました。昨年大会で敗れたホンダロックSC相手に、テゲバジャール宮崎は優位に試合を進めました。



©TEGEVAJARO MIYAZAKI

キックオフ後、ボールをしつかりと保持し続けたテゲバジャール宮崎は、前半16分に儀保選手が先制点を取り、勢いに乗ります。後半は交代で入った選手が躍動。途中出場の三島選手のパスから、サミュエル選手のシュートで追加点を決め、2対0で優勝を飾りました。宮崎県代表として、9月16日(水)から始まる天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会本選へ挑みます。

倉石監督は、「昨年PK戦で負けたので、今年こそは90分で勝つという気持ちで臨んだ試合でした。チャンスで決め、ピンチで守りきったことが勝利につながったと思います」と試合を振り返りました。



©TEGEVAJARO MIYAZAKI

俳句と川柳のコーナー

〈俳句・川柳募集〉HPの投稿フォームにてご応募ください。または新富町役場「俳句と川柳のコーナー」係までFAX(33・4862)ください。

① そよ風がふうふうとながれてく

田邊奏音

② ビオトープ針子と祝う誕生日

岡田直幸

③ あついなああついなあついなあ

詠み人知らず

④ ひさしぶり夏休み明け学校だ

荻生なつめ

①「ふうふう」がかわいらしいです。2音の字足らずが「ながれてく」様子に合っています。②メダカの稚魚を「針子」というそうです。針子がいるから寂しくない、切なくもほっこりした気持ちになります。③今年も暑かったですね!中七を「なあ」ではなく「よ」に変えたのはグッド。④「ひさしぶり」は友達への挨拶でしょうか。今年は夏休み以外の休みも多く、登校できる嬉しさが伝わります。

「キュウリの道も一歩から」

レッツ農業!!

9月下旬になると、キュウリ農家では苗床からハウス内に苗を植え替えます。苗をポットから取り出して土に植える、キュウリのつるが掴まるための支柱を立てるなど、単純作業のくり返し。でも、苗や支柱の向きをそろえたり、傾いてないか確認したりと、細かい配慮は欠かせません。1日10cmも伸び、25日で実をつけるキュウリ。心置きなく生長してもらうためには、最初の気配りが肝心なのです。

